

(トンネル効果における透過率の近似的表現 tunneling-approximation-QA20190524A.tex)

量子トンネル効果において、高さ  $V_0$ 、幅  $d$  のポテンシャル障壁にエネルギー  $E$  ( $0 < E < V_0$ ) の量子的粒子 (質量  $m$ ) が入射する場合の透過率  $T$  は次式で与えられる。

$$T = \frac{1}{1 + \frac{V_0^2}{4E(V_0 - E)} \sinh^2(\gamma d)}, \quad k \equiv \sqrt{\frac{2mE}{\hbar^2}}, \quad \gamma \equiv \sqrt{\frac{2m(V_0 - E)}{\hbar^2}}. \quad (1)$$

ただし、ディラック定数を  $\hbar$  として、 $\sinh x \equiv (e^x - e^{-x})/2$  である。

1. 量子的粒子のエネルギー  $E$  がポテンシャル障壁の高さ  $V_0$  より小さく、かつ

$$d \sqrt{\frac{2m(V_0 - E)}{\hbar^2}} \gg 1 \quad (2)$$

が成り立つ場合、透過率  $T$  の近似的表現を求めよ。

2. 量子的粒子が電子 ( $m = 0.911 \times 10^{-30}$  kg) であり、 $d = 1.0 \times 10^{-9}$  m,  $E = 7$  eV,  $V_0 = 10$  eV の場合、透過率の厳密な値と近似的な値を計算して、桁数が一致するかどうか比較せよ。ただし、光速  $c$  として、 $mc^2 = 0.511 \times 10^6$  eV,  $c\hbar = 1.97 \times 10^3$  eV  $\cdot$   $\text{\AA}$  ( $1\text{\AA} \equiv 10^{-10}$  m) を用いよ。

(解答例)

1. 題意より

$$\sinh^2 x = \left( \frac{e^x - e^{-x}}{2} \right)^2 = \frac{e^{2x} + e^{-2x} - 2}{4} \approx \frac{e^{2x}}{4} \gg 1 \text{ for } x \gg 1 \quad (3)$$

となり、透過率  $T$  の近似的表現式  $T_{\text{approx}}$  は

$$T_{\text{approx}} \approx \frac{1}{1 + \frac{V_0^2}{4E(V_0 - E)} \frac{e^{2\gamma d}}{4}} \approx \frac{16E(V_0 - E)}{V_0^2} e^{-2\gamma d} \quad (4)$$

となる。さらに、概算値としては  $e^{-2\gamma d}$  でもよい。

2. まず  $\gamma$  の定義式の分母と分子に光速  $c$  の 2 乗をかけて、与えられた定数値を代入して、その値を計算する。

$$\begin{aligned} \gamma &= \sqrt{\frac{2mc^2(V_0 - E)}{(\hbar c)^2}} \\ &= \sqrt{\frac{2 \times (0.511 \times 10^6 \text{ eV}) \times (10 - 7) \text{ eV}}{(1.97 \times 10^3 \text{ eV} \cdot \text{\AA})^2}} \\ &= \sqrt{\frac{2 \times 0.511 \times 3 \times 10^6}{(1.97)^2 \times 10^6} \cdot \frac{1}{\text{\AA}}} \\ &= \frac{0.889}{\text{\AA}} \end{aligned} \quad (5)$$

となり,  $\gamma d = 8.89$  が得られる.

透過率の正確な式  $T_{\text{exact}}$ , 透過率の近似式  $T_{\text{approx-1}}$ , 透過率の式の指数関数だけの近似式  $T_{\text{approx-2}}$  の値はそれぞれ以下のようになる.

$$\begin{aligned} T_{\text{exact}} &= 6.25 \times 10^{-8}, \\ T_{\text{approx-1}} &= 6.38 \times 10^{-8}, \\ T_{\text{approx-2}} &= 1.9 \times 10^{-8}. \end{aligned} \tag{6}$$

指数関数だけの粗い近似でも, 因子は3倍くらい異なるが, 桁数は一致しているので, 概算評価としては妥当である考えられる.